

利用後の処理方法

- ①花粉交配用に使用したミツバチは、**殺処分**をお願いします。放置するとミツバチの病気の原因となり近隣のミツバチにまで蔓延する可能性があります。
- ②処分する場合は、出入口を閉じて、網の空気窓より殺虫剤を吹き入れて殺処分してから、各市町村/自治体のルールに従って処分を行って下さい。
**※殺処分ができない方は当社で引き取り
 (税込 3,300 円/箱+送料お客様負担) も行っております。**

セイヨウミツバチに刺された場合の処置方法

- ①ハリを除去し、刺された直後であれば毒を吸い出し水でよく洗い流して下さい。
- ②患部を、冷水、氷、保冷剤などを用い十分に冷やして下さい。
- ③患部の腫れ等の症状がひどい場合や気分が優れない場合又はアレルギーがある方は、ご自身による車の運転は避け、速やかに医師の診断を受けて下さい。
- ④化粧品、柔軟剤、ヘアトリートメントなどの強い匂いと黒い色にミツバチは反応し攻撃してくることがありますのでご注意ください。



トラブル時専用 LINE



■トラブル時専用 LINE アカウント開設! ■

トラブルが起きた時、画像や動画を専用メールやLINEで送ってください。

専用メール **sugi38@0038.co.jp**

専用LINE アカウント **pollination@sugigroup**



株式会社

杉養蜂園

SUGI BEE GARDEN

■花粉交配用みつばち係 〒861-5535 熊本市北区貫町571-15

お電話 **0120-354-038** FAX **0120-877-038**
無料 24時間受付

受付時間: 午前8時~午後8時(日祝は午後6時まで) メール **info@0038.co.jp**

WEB サイト



交配用みつばち 使用の手引き

ご利用いただく前に

- ①**ミツバチは働きだすのに数日かかる場合がございます。**
 - ・ミツバチは繊細な生きものです。環境や気候の変化を受け設置直後は飛ばない場合がございます。
- ②**農薬の影響が残っていませんか?**
 - ・設置前に「**農薬影響表**」を参考にまずはミツバチへの影響日数が過ぎている事を確認して下さい。
 - ※天候に左右される為、**薬の表示日数以上**あけてから、ミツバチの利用を開始されて下さい。
 - ※農薬等のビンや袋などが圃場内にあると、薬の残香が原因でミツバチが飛ばなくなる為、必ず処分して下さい。
- ③**この巣箱は花粉交配を目的としており、それ以外でのご利用はできません。**

巣箱が到着したら・・・

■巣箱の設置方法（右図参照）

- ① 巣箱設置後は農薬散布時以外、なるべく**設置場所を変えない**ようお願いします。ミツバチは巣箱の位置を覚えて方角を認知する為、設置場所を変えるとミツバチが迷って帰れなくなります。
- ② 巣箱は直接地面に設置するのではなく**コンテナや箱の上に設置**して下さい。
- ③ 巣箱の**角度は前下がり**にして下さい。巣箱内環境が改善しミツバチの活動が活発になります。
- ④ 巣箱の出入口を太陽の方向（東向き・南向き）に向けて設置する事により交配時間が長くなり交配量が増えます。



■到着後の巣門の開放

- ① 巣箱を設置後、必ず**30分は静置**し、ミツバチが活動を始める前の夕方や早朝に開門するようにしましょう。
- ② 設置後すぐの高温環境下での開門は避けて下さい。ミツバチが一斉に飛びだし、巣箱に帰ってこなくなる可能性があります。
- ③ **出入口の前には立たずに**、後方から手を伸ばして出入口を開けたらすぐ離れて下さい。
- ④ 開ける前に霧吹きや煙（殺虫効果の無いお線香）を出入口の金網へかけるとミツバチがおとなしくなる為、開けやすくなります。
- ⑤ 移動時以外は常時開けておいて下さい。

導入後の管理方法

■温度と湿度管理

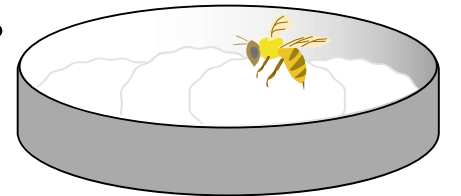
ミツバチが好む最適温度は 20℃～25℃で、最適湿度は 60～70% です。温度が低いと活動が鈍くなり、高すぎると天井の方ばかりに飛び訪花しない為、ハウス内の温度調整をお願いします。

■給餌方法

ミツバチを長く使用するには、**給餌が必要です。**

【エサの作り方】

- ① 砂糖 1kg に対してお湯 600ml の割合で溶かし砂糖水を作る。
- ② 1回当たりの目安：150ml～200ml を脱脂綿等に浸す。
※ミツバチが溺れないよう浅い皿を利用する。
- ③ ②を巣箱の出入口付近へ設置する。



【給餌の目安】

(10月～2月) 設置後 1週間後→その後 2週間毎

(3月以降) 設置後 1週間後→その後 1週間毎

※エサが残ったり、皿が軽くなった時は給餌の間隔を調整して下さい。

■農薬散布時

- ① 前日の夜に巣箱の出入口を閉め、圃場から避難させて下さい。
- ② ミツバチは極端に薬に弱い生き物です。殺虫剤、殺菌剤はもちろん、除草剤や液肥でも影響を受けてしまうことがあります。
※天候にもよりますので薬の影響度一覧を参考の上、表示日数以上ミツバチの利用を避けて下さい。農薬の臭いに警戒して訪花活動をしなくなる恐れがあります。
- ③ 薬の使用時や残留中はミツバチがビニールハウスへ出入りしないようにビニールハウスの穴を、板などでふさいで下さい。